

センターだより

NO. 5

平成24(2012)年9月5日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

夏季研修報告

夏季研修は63講座実施 参加人数は延べ1884名!

平成24年度の夏季休業中の研修は、昨年より講座数を増やし多くの教職員の参加がありました。研修では、参加者が活発に意見交流し考えを深めたり、実技的な研修を熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。それぞれの学びを今後の指導に活かすとともに、他の教職員に広め各学校園全体のものになることを願っています。

特別支援教育研修

215 「ユニバーサルデザイン (UD) について」

現在、各校園で取組まれているユニバーサルデザイン(以下“UD”)の例を持ち寄って交流し、UD及び支援についての意識を高めることを目標に研修を行いました。UDという難しいような気がしますが、「声のものさし」のように、広く活用されているものもたくさんあります。

当日参加の先生方からは、50を越える実践例が集まり、その中から参加者みんなで「UD大賞」を選び、わきあいあいとした雰囲気の中で研修を終了しました。実践集は冊子にして参加者に送付する予定で、現在編集中です。



216 「個別の指導計画の立て方」

夏季休業中の特別支援教育研修として恒例行事となった「個別の指導計画の立て方」。「個別の指導計画」をたてるのはなぜでしょう？それは“いいこと”があるから。例えば「個別の指導計画」をたてて活用していることは発達課題のある人がセンター入試での配慮事項を受ける条件の1つとなります。また、家庭と学校が共通の課題を認識したり、引継ぎのためのツールとしても活用できるのが“個別の指導計画”です。子どもの特性をきちんと整理し、有効な手立てを考えるためにもまずは、個別の指導計画を立ててみましょう。



217 「発達障がいの理解と支援 ～発達障がいと少年非行～」(兼 教育課題別研修76)

京都ノートルダム女子大学教授の藤川洋子先生を迎えての講演会です。以前は「愛情不足」「しつけ」「本人の性格」等が原因とされてきた問題行動や非行は、実は発達課題と深い関係があることがわかってきています。発達課題のある人に対しては「傾聴」や「共感」だけでなく、認知の空白や凸凹を埋めていくことが大切であり、それが、二次障がいを防ぎ少年非行から守ることなのだというお話でした。



平成24年度吹田市教育研究大会

たくさんの参加・報告ありがとうございました。

今年度の教育研究大会は、8月8日の全体講演会、8月28日の分科会と2日間に分かれて開催されました。参加人数は、8日の全体講演会で251名、28日の分科会に教員1538名、来賓やG分科会の保護者などを合わせると1600名が参加しました。今年度は、幼・小・中の学びを高め、健やかな体と心を育むための授業づくり・授業改善を柱に、現場の先生たちの発信を中心とした7つの分科会を実施しました。それぞれの分科会で、テーマについて学びを深めることができました。ご協力ありがとうございました。また、多数協力をいただいた当日スタッフの皆さんにも改めてお礼申し上げます。

なお、教育研究大会の報告につきましては、9月下旬にまたお知らせいたします。



管理職別研修



8月10日(金) 夏季校園長研修

8月20日(月) 夏季教頭研修

全体会 I では、吹田市に本社を構える医療コンサルティング会社シップヘルスケアホールディングスの古川國久社長をお招きし、「会社経営から学ぶ人材育成・マネジメント力」の



演題で講演いただきました。確固たる理念のもと、会社と社員を育てておられるお話は、学校経営に参考とした内容でした。

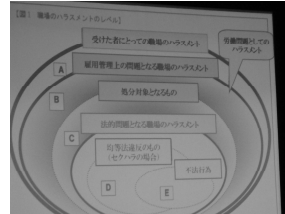
全体会 II では、「信頼ある学校をめざして一保護者対応を通じて見える学校の教育力」という演題で、宮下幾久子教育委員の講演に続き、パネル形式で、取組事例をもとに課題を共有しました。



パネラーの宮下教育委員・村井校長・島村校長・中川園長

その後、協議会では、グループに分かれ、全体会 I・II の内容を踏まえ、人材育成とマネジメント力を高めるための取組と、保護者とよりよい関係を築き、信頼ある学校を目指すための方策について、意見交流を深め、1日の研修を終えました。

全体会 I では、大阪府教育センター人権教育室 黒田浩継総括主任指導主事より、「セクシャルハラスメント



およびパワーハラスメントの防止」について、グループワークも交えて、具体の事例で「これってセクハラ?」と考える場面もあり、是非今後の指導に生していきたい研修内容でした。

全体会 II では、大阪教育大学、大脇康弘教授を講師にお招きし、事例討議「ケースメソッド」による研修を行いました。受講後の感想をいくつか紹介します。



- ・クラス討議の時間が最も学びが深まりました。問題点や解決策をいろいろな立場・角度から考察し、意見の交流ができたからです。
- ・グループ討議で、意見を出し合って、自分が考えていたことが深まり、新たな発見ができた。
- ・危機はどの学校でも起こりうることとして、様々なケースから具体的・実践的に学ぶ必要性を感じました。

教育課題別研修

花園大学 橋本和明 教授 「いじめ等を未然に防ぐために」

今、大きくとりざたされている「いじめ」 学校で働く者にとっていじめの対応は重篤な課題であります。その「いじめ」と「虐待」の共通点がいかにか多いか。また、被害者が加害者に逆転してしまう現象を読み解いていきました。そこにはやはり、被害者・加害者の心理状態がキーワードになっています。さらに「いじめ」の特徴を知ること、いじめの早期発見となり、未然防止につながることを学びました。また、発達に課題のある人はその特性からコミュニケーションに課題のある場合があり、からかわれやすく、いじめの標的になりやすいことやトラウマの恐ろしさ等、身に染みる思いでした。養護教諭や SSW の参加もあり、「もっともっと研修したかった。」と、感想が多数でした。

「部落問題学習を学校ですすめていくために」

人権・部落問題学習の進め方について、星野先生に実体験をもとにわかりやすく話して頂きました。

「吹田の歴史をわかりやすく学ぶ」
～バスでめぐる吹田の歴史探訪～

初めて博物館と教育センターとの共催で実施した研修。泉殿宮・旧西尾家・吉志部神社・吉志部瓦窯跡・垂水神社・垂水遺跡等をめぐり、たくさん発見をしました！



短時間・内容の濃、研修でした。地元を知ることで子どもたちも郷土への愛着が生まれる。吹田市の歴史ある場所があるんだ。

教育課題別研修〔73〕「子どもの心ここに寄り添う」

「教員にとってカウセリングマインドが大切です」というような言葉をよく聞きますが「カウセリングマインド」っていったい何でしょう？教育センター 竹内相談員を講師に子どもの心に寄り添うとはどういうことかを学びました。「受容」「共感」「自己一致」がカウセリングマインドの基本で、どうしても対応を急いでしまう教職員に対し、子どもが自分の心を扱えるように時間をかけて導くのがカウセリングのスタンスだということでした。ぜひ、二学期から活かしていきたい研修でした。



自分自身がこのような研修に参加したことがなく、今日の話聞いて、意識をしっかりとって取り組まないといけないと感じた。「差別」とはつくられるものだということを改めて感じた。部落差別をする人を育てないための教育。難しそうに思うが、大事なことだと思う。

授業づくり研修

理科実験・観察研修

小学校3年～6年の学年別の4講座と地学に中学校の1講座を併せた6講座を実施し、全て2学期以降の授業で扱う実験・観察を詳しい説明をうけながら実習しました。実験・観察に自信のない小学校の先生は少し安心されたことでしょう。地学は昨年の教員意識調査結果でニーズが高く開講したところ、大好評で中学校でも十分活かせる内容でした。



子どもと同じ目線で実験でき、何を準備し、どういう手順で行うかがよくわかった。



教科書よりも子どもたちが作りやすい実験用具の作り方を教えてもらって良かった。

すぐ授業で使えそうで、よかったです。自分も楽しくできたけど、子どももこの楽しみを味わえるように、力をつけて授業にのぞみます。

学期に1回程度、学習進度に合わせた内容で実施してほしい。

小学校中学校英語研修

夏季集中研修

今年度の夏季集中研修は4回と盛りだくさん。小学校英語2回と中学校英語2回に分けて行いました。小・中学校の教員がどちらに参加してもOKにしていたので、両方の講座に参加された熱心な中学校の先生もいました。グループワークや参加者での意見交流が活発に行われ、充実した時間となりました。



中学校の先生方とお話することで授業の展開について小学校と同じ点・違う点を学ぶことができた。

授業づくりをみんなでやり他のやり方が参考になった。教師の思いこみでテストを作成していたことに気づかされた。ねらいをはっきりしたテストをつくりたい。

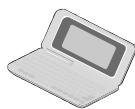
中学校への接続、次へのステップ先がどんなことを求めているのかがわかりました。2学期からの授業に活かしたい。実践を交えた研修で、ぜひ授業でつかいたい。毎回楽しい研修で大変ありがたいです。様々なワーク・チャンツを教えてください、授業に役立つものばかりでした。

ヤングリーダー研修

年6回のパッケージ研修であるヤングリーダー研修は、夏季に2講座(第3回と第4回)を開きました。第3回は「学校づくりに役立つ教育法規」第4回は「人権教育」でパワーハラスメントについて研修しました。教育法規はどの程度知っていますか? 基本法・学校法・公務員法等大切な法規がたくさん!



聞くだけでなくワークあり、ロールプレイありで楽しく学べた。パワーハラスメントは大人の世界にばかりあてはめていたが、対生徒(児童)もあり得るということに気づき、気をつけようと思った。指導としてやっていることが一線を越えるとパワハラになってしまうことがわかり2学期以降に気をつけ、また、若い先生方に伝えていけたらと思います。



情報教育研修



夏季休業中に26講座開催し、327名の先生方に参加いただきました。今年度は情報教育機器が更新されますので、新しい機器やソフトを使った研修を実施し、多くの先生方に体験していただきました。また、情報モラルの研修を4講座、著作権に関する研修を2講座実施し、今日的な課題にも対応できるようにしました。2学期以降の授業や校務に活用していただければと願っています。



・苦手意識があり使うのをためらっていましたが、意外と簡単にわかりやすく、今後すぐに使いたいと思いました。(書画カメラ)

・情報モラルに関しては1回で終わりではなく、継続して指導を続けていかなければならない問題なので、きちんと子どもたちに伝える必要があると改めて思いました。

ステップアップ研修

夏季にステップアップ研修は、ステップⅠ・Ⅱ合同で2回、ステップⅡだけで2回、ステップⅠは社会体験研修を4半日実施しました。今回は、夏季に合同で実施した「授業づくり研修①②」について



7月30日(月)「授業づくり研修①」

前半、小学校は「算数」・「国語」、中学校は「生徒指導」・「道徳」に分かれて講義・演習を行いました。講師は各教科領域に秀でた市内の校長、教頭、指導教諭にお願いしました。
後半は、小中混ざって「表現活動」と「開発教育」に分かれ、実際に動いたり体験したりしながら学びました。受講者の感想を一部紹介します。



国語の授業は一番苦手でしたが、授業についてのヒントや考え方をたくさん教えていただきました。徳に学習方法をしっかりと指導することを意識していき



算数の問題を実際に解いて考えることで、より集中して聞くことができました。答えが出ても何故そうなるのか考える授業が深まると思いまし



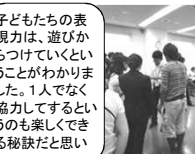
教科の授業も生徒指導の視点から組み立てていかなければならないというお話をきいて、2学期からの計画を考えることにしまし



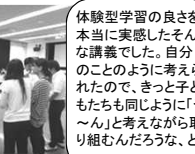
道徳の時間の切り口を学ぶことができ、とても参考になりました。中心発問の設定が授業展開を決めることになるので、今後意識して授業づく



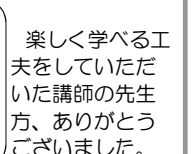
子どもたちの表現力は、遊びからつけていくということがわかりました。1人でなく協力してするというのも楽しくできる秘訣だと思います



体験型学習の良さを本当に実感したそんな講義でした。自分のことのように考えられたので、きっと子どもたちも同じようにならんと考えながら取り組むんだらうな、と



楽しく学べる工夫をしていただいた講師の先生方、ありがとうございました。



最後に1時間を使ってグループごとに発表しました。板書を提示する班、一部を模擬授業にして見せる班など、工夫にあふれた各班のプレゼンでした。
7/30の授業づくり研修①で学んだことを生か

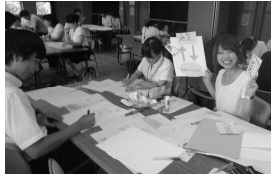
8月6日(月)「授業づくり研修②」

前回の学びを受けて、小学校は「算数」・「国語」の選択別に分かれて、また中学校は「道徳」の領域で、授業案をグループで考える研修を実施しました。

小学校算数、国語、中学校道徳、ともに指定された教材・資料で授業案を考えました。本時のねらいはどうするか、発問や課題提示の工夫など、本時の流れについて、グループで相談しました。



次に、ワークシートや教材提示の教具などをつくっていききました。グループで話し合いアイデアを出し合いました。限られた時間と材料ながら、受講者は工



最後に1時間を使ってグループごとに発表しました。板書を提示する班、一部を模擬授業にして見せる班など、工夫にあふれた各班のプレゼンでした。
7/30の授業づくり研修①で学んだことを生か



限られた時間でねらいにそった授業案を考える力は、教師には不可

9～10月 教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
あすた ライ ジフ 研修に	ヤング リーダー研修	20 「子ども理解研修」 ～どの子も過ごしやすい学校生活 教室のユニバーサルデザインについて考える～ 講師 青山台小学校 指導教諭 川向 博子	教育センター 第一会議室 (2階)	10月18日(木) 15:45～	教職員
課題別 研修	新教育課程	72 【連続2回講座 ①】(②は1月18日) 「思考力・活用力を育む授業づくり」 講師 大阪教育大学 教育学部 教育学研究科 教授 木原 俊行 先生 ※教育課程推進委員会と兼ねる	教育センター 視聴覚室 (2階)	9月10日(月) 15:45～	教職員
	授業研究	77 「校内授業研究の活性化」 講師 吹田市立教育センター 指導主事 速水 素子	教育センター 研修室 (2階)	10月15日(月) 15:45～	教職員
	国際教育	78 「参加体験型学習を通じて世界を学ぶ」 ～写真で学ぼう「地球の食卓」～ 講師 吹田市立南千里中学校 指導教諭 池田 愛 吹田市立教育センター 参事 西田 智子	教育センター 視聴覚室 (2階)	10月25日(木) 15:45～	教職員
教科領域 別研修	小学校 英語活動研修	94 「小学校6年 Hi, friends2 を活用した 専科指導教員と担任による研究授業」 授業者 第一中学校 教諭 池田 広恵 千里第二小学校 教諭 藤川 久美 講師 関西大学 教授 竹内 理 先生 ※英語担当者会と兼ねる	千里第二小学校 6年雪組	10月29日(月) 14:35～	教職員
	授業づくり研修	100 【公開授業と講演】スーパーティーチャーに学ぶ 「思考力・表現力を育む小学校国語科の授業(仮)」 筑波大学附属小学校教諭 二瓶 弘行 先生	吹田南小学校	10月12日(金) 午後	教職員
教育特別 研修支援	事例研 (行動)	225 「子どもの将来を見据えた支援について」 事例提示:市内幼稚園教員 指導助言:愛媛大学教授 花熊 暁先生	教育センター 視聴覚室	9月14日(金) 15:45～	教職員

☆以下の件について、6月18日付けで大阪府教育センターより、研修受講者への諸注意が通知され各校園にて周知徹底されているかと思っておりますが、吹田市内の研修においても同様ですので、注意されますようお願いいたします。

- ・教育公務員としてふさわしい態度・服装
- ・受講者の遅刻 (夏季休業中、朝からの研修でみられました。緊急の場合は管理職を通じて連絡ください。)

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付する実施要項をご覧ください。

10月のさつきらる一む(初任者教員等相談室)は、
10月2日(火)、4日(木)です。

